



## 記者会見資料

平成 20 年 5 月 12 日

商業観光課

生涯学習課

### 東海北陸自動車道を活用した連携・交流の推進について

東海北陸自動車道の全線開通を迎え、東海北陸自動車道の沿線各市との連携・交流を進めています。

#### 1 七夕交流の実施

(1) 実施期間 一宮七夕まつり 平成 20 年 7 月 24 日(木)～7月27日(日)

高岡七夕まつり 平成 20 年 8 月 1 日(金)～8月7日(木)

(2) 一宮市から高岡市へ

- ・ 7 月 11 日(金) 午前 11 時 30 分 PR キャラバン隊 7 人が高岡市長表敬訪問
- ・ 8 月 1 日(金) 高岡七夕まつりオープニングに一宮七夕まつり協進会が参加
- ・ 8 月 1 日(金)～7日(月)

高岡七夕まつりにおいて、一宮の大型七夕飾り 2 基を装飾する。

(3) 高岡市から一宮市へ

- ・ 7 月 23 日(水)

一宮市駅前広場に高岡の大型七夕設置

実施主体：高岡市、高岡市観光協会、高岡商工会議所、世界文化遺産をめざす高岡市民の会、(株)末広開発

- ・ 7 月 24 日(木) 午後 6 時～

一宮市七夕まつりオープニングに参加し、開町 400 年をアピール。

参加予定：高岡市長、「利長くん」、七夕大使、高岡商工会議所、同青年部

- ・ 7 月 26 日(土)～27日(日)

一宮七夕まつり会場(本町アーケード街)で商工会議所青年部と地場産業センターによる高岡市の特産品販売。

(4) 願い七夕への参加

一宮市民に願い事を短冊(1,000 枚)に書いていただき、高岡の「マイ七夕」に装飾、展示する。

参考：平成 18 年 10 月 一宮商工会議所・高岡商工会議所友好提携

平成 19 年 10 月 一宮市・高岡市災害時相互応援協定締結

2 宿泊学習の誘致（高岡市二上まなび交流館キャラバン隊の実施）

東海北陸自動車道の全線開通により、高岡へのアクセスが容易かつスピーディになるため、高岡の魅力やものづくりデザイン科など特色ある教育をアピールするとともに、二上まなび交流館の小・中・高校生の利用促進・宿泊学習の誘致及び相互交流を目的に、東海北陸自動車道沿線市について巡行活動を実施するもの。

実施日：平成 20 年 5 月 27 日（火）～28 日（水）

巡行箇所：一宮市、関市、美濃市、郡上市

これ以外にも、県外からの修学旅行等を誘致するよう PR に努めていきたい。

参考：二上まなび交流館の平成 20 年度利用状況（4 月～9 月までの見込）

小学校 21 校	1,676 名（うち県外：東海地区 1 校 80 名）
中学校 10 校	442 名（うち県外：東海地区 1 校 14 名、北陸地区 1 校 10 名）
高校 12 校	975 名（うち県外：関東地区 1 校 71 名、東海地区 1 校 20 名）

3 万葉での交流

一宮市は、昨年 50 周年を迎えた「萬葉公園」が設置されているなど、市民の万葉集への関心も高く、今後、万葉をテーマにした交流も進めていきたい。

・万葉歴史館から一宮市への講師派遣の実施

日時：平成 20 年 9 月 7 日（日）午後 2 時～

場所：一宮市萩原公民館

演題：「初心者のための万葉教室」

講師：万葉歴史館 新谷総括研究員

主催：一宮市観光協会、萬葉公園顕彰会

4 高岡南砺郡上台湾誘致協議会の取り組み

別紙

担当	商業観光課	20-1300（417）
	生涯学習課	20-1455（667）

# 高岡南砺郡上台湾誘致協議会事業 概要

## 1. 事業主旨

岐阜県郡上市は、日本のほぼ中心に位置し夏の郡上八幡、冬の奥美濃スキー場群を中心とする観光資源を中心に、年間約580万人の観光客が訪れる観光立地を基軸とした産業振興を行っている。富山県の各市においても、合併後の各地域の観光資源を生かした観光誘致に力を入れ地域興しを行っているところである。

しかしながら、各市における観光振興事業についてはそれぞれの市が自身のPRを行うにとどまり、せつかくの観光素材を点としてしか捉えられない状況が続いていると言わざるを得ない状況であった。その状況下において、平成19年10月に、近年日本への来訪が増加している台湾からの観光客誘客を目的として、台湾観光事業者を招き郡上市及び高岡市が共同でファムトリップを実施した。その際に、台湾観光事業者にはそれぞれの観光素材の特色について好印象を持たれ、海外誘客についての足がかりを築いたところである。

そこで、平成19年度の事業の取り組みを岐阜県、富山県の2県に拡大し、線から面での広域観光連携を実施し、より効果のある観光客誘致を図るものである。

アジア地域における海外旅行の成熟度は、ビザの発行及び団体旅行実施の面で台湾が進んでいる地域である。現在台湾観光客を対象に実施されている国内ツアー以外に、郡上・北陸地域を中心とした新規観光ツアーの造成を図ることにより、有効な誘客活動が見込まれることから、海外誘客の対象地域を台湾に絞って実施をするものである。

## 2. 事業内容

平成20年度の東海北陸自動車道全通を控え、郡上市、富山県3市及びそれぞれの観光関係団体が協同で、全線開通後の利便性の向上による広域観光連携を実施し、台湾からの誘客事業を行う。その際には、台湾サイドに興味を持ってもらえる観光素材である「日本の祭」を中心としてPRを行い、ひいては宿泊・観光施設の利用客の増加、繁忙期以外の誘客促進、新産業及び新たな雇用の創出を目指すために次の事業を実施する。

### (1) 台湾旅行代理店向け説明会におけるPR及び台湾旅行博覧会出展

東海北陸自動車道全通による利便性向上を見据えた、岐阜・富山両県の沿線市町村の観光素材を用いた新規観光ツアーを造成するとともに、台北市で行われる台湾観光博覧会(2008年5月)でのツアーPR及び販売を行う。また、各地域の伝統芸能(郡上おどり、こきりこ節等)を現地で実演、紹介することにより従来

の国内ツアーにはない地域の魅力「日本の祭り」を発信するPRを行い、岐阜・富山への観光客誘致を図る。

## (2) ツアー造成ファムトリップの実施

従来の国内観光ツアーとは違う魅力を持たせた、岐阜・富山の伝統文化、各地域の観光資源を紹介する新規観光ツアーを作成し、台湾旅行関係者に実際に体験、PRを行う現地視察を実施することにより、各地域の観光素材の直接かつ強力なPRを行い、現地において観光関係事業者が直接商談する機会を設け、団体販売向けのツアー造成、販売に向けた取り組みを行う。

## 事業効果

従来の東京、京都、名古屋圏を中心とした観光ルートに加え、東海北陸自動車道沿線の観光を加えた新規観光ツアーの造成、PRを行うことにより、各地域への入り込み観光客の増加と宿泊客の増加、広域連携による四季型観光ルートを通じてのリピーターの拡大による繁忙期以外の誘客が見込まれる。

## 事業計画

2008年	4月	事務局の台湾旅行博打ち合わせ
	5月	2008台湾観光博覧会(TTE)参加
	9月	台湾旅行事業者向けファムトリップ実施